

# 牡丹の記憶





辺りにも聴こえるくらい  
盛大なアケメ声でしたよ

くっつ、聖人が  
そんなにアナル狂いで  
良いんですかね？

ふーん、キレて……  
こいつが……  
お、お……

◆前回まで  
：「祈りの虹」  
：「祈り降るなら」

んオツ！  
あ……ひイツ！！

い……やあ……  
こっ……こんなッ……

おっ……おしりっ……  
めッめくれちゃ……！

んひっ！！

聖様、手は使っちゃ  
駄目ですよー  
ほら、いきんでいきんで

だっ駄目え……  
見ないでエツ！！

ああッ……  
でッ……

お前のゆるケツマンじゃ  
これくらい激しくして  
くんねーとなあ……

は……

は……ん……

ん……ん……  
ん……ん……  
ん……ん……

わんこのポーズで  
完全服従ですか  
白蓮さま？

おひ……

おひん……ぼおひ

ダメだもう  
ちんぼの事しか  
頭にないってよw

この場所に監禁されて  
どれくらいが経った  
のでしょうか……

外部から遮断され  
身に衣服を纏う  
ことも許されず、  
蹂躞される毎日……

気怠い身体を  
首輪で引きずられて  
朝が始まります

あれから私は  
この地下室で  
飼われています……

どうした

ノロノロ歩いて  
んなよ聖

んっ……くっ……  
ああ……っ

お尻は容赦なく  
振動するパイプで  
責められ続け

淫核には  
ローターを  
貼り付けられて

否応なしに  
肉粒が昂ぶって  
しまいます……

うう……

は……っ

そう…まるで  
家畜のように…



もっも、もう  
う、動けません  
……

ビクッ

ビクッ

ビクッ

お…お尻が  
切なくて…っ

ビクッ

ビクッ

あの大きな  
おちんちんで…

ああ…

あ…う…  
ああ…

……  
欲し…い…

思いつきり…  
犯して…欲しい…

長時間 バイブで  
アナルを炙られ  
続けて…

お尻はもうグチャグチャ  
まるで爛を付けたように  
熱くてドロドロで…

啜えこんだパイプは  
飲み込んでしまっ  
て手放しそりに  
ありません…



は…

あ…

あうう…

はあ…

はあ…

お…お願いします  
ご主人様あ…

白蓮…

お…おちんぼ  
おちんぼ下さあい…

おいまだ散歩の途中だぞ  
もうサカったのか？

んああ…

もっもう何回も  
アナルでアクメして  
つらいんです…

おちんちんで  
めちやくちやに  
されたいんです…

アッ

アッ



私がどれくらい  
牝に墮ちたかの  
証明——

かあ

挿入れて欲しいなら  
いつものアレを  
しろって言うてるだろ？

お…お願いします  
ああ…お願い…

ちっ  
しゃあねえな

すぐ発情するように  
なっちまったな  
この淫乱僧侶様は

は…はい…  
ご…ご覧ください…

んっ  
んん……

もっと股開いて  
よく見せろよ

はっ♡

おら、  
出せッ!!

はっはっ♡

出ちゃ……  
ウウウッ!!

ひんっ

おっおっ♡  
でえ……♡

いっ、イクイク  
イクッ♡♡

性欲を律する  
どころか……

果ては恥をかく  
ことにすら  
興奮を覚える  
ように……

トマチ♡

キン……反撃す  
かた……です……

おっおっ♡  
はっはっ♡  
はっはっ♡



は... あああ...  
い...

いかがだった  
でしょうか...

聖の...  
浅ましい牝牛奴隷の...  
屈服おしっこは...

すっかり変態に  
なりやがって...  
腰が抜けるほど  
良かったのか?

排泄行為にすら  
快感を得てるんじゃ  
不淫戒もあつたもんじゃ  
ないよなあ

そんなザマじゃ  
立てないだろ

聖ご愛用の  
コイツを使うか

おっ、いいね

もうこの地下で  
お前がマーキング  
してない場所  
なくなっちゃったな

あ... ち... ち... ち...





よく  
出来ました  
っ♡♡♡

はああっ♡  
くっくっ♡  
くるぅ♡♡

ケツマンコ限界  
まで拵げとけよッ

おちんちん  
く…



あッ…!?

うああ—っ

ああ—  
ツ  
♡

いっイクッ

イクイクっ♡♡  
イクう—♡



んあ…っ  
くっ…はあっ…

そ…んな激しく  
したらっすぐに  
イってしまいますう…

すぐイクのは  
お前が淫乱  
だからだろ？

そっ…  
そんな事…







挿入れやすいように  
股開いてケツ  
掲げるんだよ

こっちも  
おかわり頼むわ

はっ…  
はいっ

はひっ  
おロマンチック  
お使い下さっ……

も…もつと  
汚してえ……

いっばい精子  
出してえっ



おっ…あぁ……  
奥…まで埋まってえ…  
満たされるう…♡

ふ…深あ…い…♡

ズ  
カ  
カ  
カ  
イ



息吐いてよく  
尻腔も掘げとけよ

は…は…  
はあ…  
はあ…

そっそっ

ズ  
カ  
カ  
カ



おらッ



あーあー  
今度は潮か

いつもの垂れ流し  
アクメモードに  
入っちゃったか



すっすみません  
ご主人様...  
私ばかり勝手に  
イッてっ...

くう...

んっ...くっ...  
イッ...くう...

まっ また...  
お尻で...アクメ  
します...っっ



でっでもっ  
無理ですうっ

こんな逞しい  
おちんちんで  
ズコズコされたらあッ

淫らで貪欲な  
私のケツマンコは  
すぐにイっちゃい  
ますうッ♡♡

はっ…あああ…  
ぬっ抜けちゃう…  
おちんちんっ…

もっきょと  
くだらじ…  
犯して…くだらじ…

ズ  
ツ  
ル  
ル  
ッ

ホ  
ロ  
ッ

寂しがりやのアナルは  
殿方が離れると  
身を震わせて  
健気に懇願し

挿入してもらおうと  
途端に安心して  
嬉し涙を流します

そして  
私も…

んはッ!!

ズ  
ル  
ッ

ただ「絶頂」を  
叫ぶだけの  
牝に成り下がる…

あーッ  
イクッ イクッ♡

またすぐ  
イクっ♡

イクうっ♡

ズ  
ツ  
ル  
ッ

ズ  
ツ  
ル  
ッ

ズ  
ツ  
ル  
ッ







イェーッ



ア

ああ…  
幸せ……♡

♡♡♡

こうして… 精も根も  
尽き果てる頃に  
一日の奉仕が  
終わります

この頃には  
お尻も乳腺も  
開きっぱなしで  
……

せっかく注いで頂いた  
おちんぼ汁も零して  
しまつて… とも  
申し訳ない気持ちで  
いっばいです……

寝る前に  
いつもの言葉だ

ああ… 本日も…  
牝牛肉奴隷の  
聖白蓮を…

使つて頂いて…  
ありがとうございました  
……♡♡

白蓮の… 穴という穴は  
これからも皆様の  
ためにご奉仕  
いたします…♡

牝奴隷宣言  
をします…

◆使う機会のなかったポツラフ  
こういう格好で露出させるのも  
やってみたい




◆あとかき

どうも、ざくろです。

毎回ギリギリで出来てるかどうか不安ですが、今回もまた白蓮さま本でした。  
表紙でおっばいいじってるのにサツツツッパリおっばいいじれなかった…。ごめんなさい。  
毎回あれもこれもやりたいのにエロ漫画は難しいな…。  
地球を守りすぎてたのがいけないのか…。

それとは関係ないのですが、次回、例大祭 13 に申し込むとしたら  
たぶん次は白蓮さま本じゃなくて他キャラにしようかな、と思います。  
描き飽きたのではまったくないのですが、ちょっと実験したいことがあるので。  
(白蓮さまむしろ描きやすくてどんどん酷いことできるんですけどね)  
そんなこと言ってやっぱりまた白蓮さま本かもしれませんが…  
期待に添えられるかはわかりませんが、見たいキャラとかあったら教えてください。

次は夏コミに参加の予定です。何本にしようかな…。  
それではまたいつの日にか。



“牡丹の記憶”

2015.05.10 / 例大祭 12

2015.06.14 / 2 版

ドウガネブイブイ

あぶりだしざくろ / 38

<http://zaku6.sakura.ne.jp/>

[zaku6@jcom.home.ne.jp](mailto:zaku6@jcom.home.ne.jp)

pixiv : 5045

twitter : zaku6

印刷：サングループ

◆禁無断転載・複製・複写

◆18歳未満の閲覧を禁じます



“牡丹の記憶”

ドウガネブイブイ / 2015 RTS12

東方Project Fan Book